

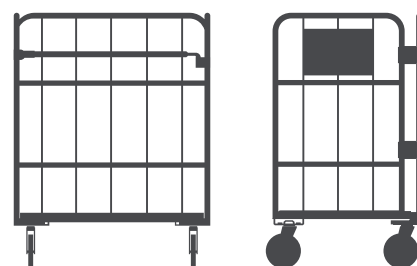


資料整理用カゴ台車

カビ・虫等の生物被害対策に重要なのは、清掃しやすい環境づくりです。

床置きしている資料の段ボール箱などをカゴ台車に置くことで、
風通しが良くなるとともに、移動もしやすくなります。

小型で軽量のため、女性の図書館員でも楽に操作することができます。



資料を床置きしないで整理整頓することで、カビ・害虫の対策につながります。



カビ・虫等の生物被害対策に最も効果的なのは、栄養源となる塵埃を堆積しないことです。そのためには、まず清掃しやすい環境づくりをすることが重要となります。

床置きしている資料の段ボール箱などをカゴ台車に置くことで、風通しが良くなるとともに、移動もしやすくなります。また、資料の一時受け入れの保管場所などにも使用できます。

小型で軽量のため、女性の図書館員でも楽に操作することができます。

N 資料整理用カゴ台車

497-200	¥ 60,000+ 税	W.850	D.650	H.1,100
---------	-------------	-------	-------	---------

本体：スチール 粉体塗装 荷台部：床板樹脂 積載荷重：500kg 重量：29kg 両面折畳式 150Φ キャスター2ヶ所ストッパー付



使用しないときには畳んで収納することができます。

※必ずし字にしてください。



空の段ボール置き場にも使用できます。



小柄な方でも視界を遮らず運搬できますので、安全安心です。

段ボール箱等の床置きはなぜ資料保存に適さないのか

書庫やバックヤードで、未整理の資料などを段ボール箱に入れて床に直接置いたり、積み上げたりしてしまいませんか。実は、そうした段ボール箱の放置は、カビや害虫の繁殖をまねいてしまうおそれがあるのです。

段ボール箱は吸湿性と断熱性があるため、積み重ねて床置きしておくことで湿気だまりができてしまい、カビが発生してしまうことがあります。また、暗く暖かいじめじめした、あまり人が触らない場所は、害虫が過ごしやすい場所となり、段ボールの隙間等に営巣・産卵し繁殖してしまうことがあります。

そこで、カゴ台車に床置きの段ボール箱を移動・積載することで床面との間に隙間が生まれ、通気性が向上し、害虫の繁殖を防ぐとともに湿気がこもりにくくなり、カビ対策にもつながります。



掃除は資料保存にとって究極の対策

図書館の紙資料を加害する生物として、カビと害虫が挙げられます。これらは、私たち人間と同じく、外部から栄養を摂取し生命活動を維持する生き物です。すなわち、これら生物の「えさ」となるものを排除することで、発生や繁殖を抑制することができますと考えられます。

カビにとっての栄養分は、「水分」と「養分(有機物)」であり、図書館においては埃や汚れ、虫の死骸などです。また、害虫は資料自体をえさとしませんが、同じく「水分」と「養分(有機物)」を必要とします。すなわち、図書館の中から湿気を取り除き、埃や汚れ(人間の皮脂・髪の毛等)、虫の死骸・ごみ等を掃除することによって、カビ・害虫の発生を防ぐことができます。

資料保存は専門的で難しい、どうしたら良いか分からないという方も多くいると思いますが、その基本は「掃除」です。まずは、自館の書庫の整理や掃除から始めてみるのはいかがでしょうか。キハラでは清掃に使用することができるクリーン用品も取り扱っています。

キハラ株式会社

本社 東京都千代田区神田駿河台3-5
大阪支店 大阪市淀川区木川東3-4-19
北海道営業所 札幌市豊平区西岡5条3-8-15
仙台営業所 仙台市泉区泉中央1-37-1
福岡営業所 〒812-0893 福岡市博多区那珂1-25-17
名古屋営業所 〒466-0027 名古屋市昭和区阿由知通4-13 朝日生命名古屋東ビル5階

<https://www.kihara-lib.co.jp>

TEL:03-3292-3301 FAX:03-3291-5198
TEL:06-6306-1710 FAX:06-6300-0584
TEL:011-857-3331 FAX:011-857-5211
TEL:022-772-3305 FAX:022-218-5198
TEL:092-437-3301 FAX:092-437-3401
TEL:052-898-3111 FAX:052-898-3115